

令和5年第8回教育委員会会議事録

1 開催日時

令和5年6月9日(金) 午後3時00分～午後3時23分

2 開催場所

教育委員会会議室

3 出席者

	教育長	菅野 勇次
教育委員	教育長職務代理者	小尾 一彦
	委員	東 みどり
	委員	國安 環
事務局	教育部長	川瀬 吉治
	学校教育課長	西田 建司
	生涯学習課長	石田 晋一
	給食センター所長	守屋 敦史
	図書館長	岩岡 夢貴
	学校教育係長	酒井 貴範
	総務係長	小野 敦
	学校教育推進員	梶原 源基
	学校教育推進員	佐藤 充弘
	学校教育推進員	喜多 敦

4 議 事

承認第6号 専決処分した事件の承認について

(令和5年度教育行政執行方針について)

議案第51号 令和5年6月16日付け教頭人事異動の内申について

議案第52号 令和5年度幕別町一般会計補正予算の要求について

5 議事概要 次のとおり

菅野教育長 ただ今から、第8回教育委員会会議を開会いたします。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1、会期の決定についてお諮りいたします。会期は、本日1日限りとすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

菅野教育長 異議なしと認め、会期は、本日1日限りと決しました。

次に、日程第2、会議録署名委員の指名についてであります。本日の会議録署名委員に、2番東委員、4番小尾委員を指名いたします。

次に、日程第3、前回会議録の承認であります。第7回教育委員会会議について別紙会議録のとおりでご異議ありませんか。

(異議なし)

菅野教育長 異議なしと認め、第7回教育委員会会議録を承認いたします。

次に、日程第4、事務報告についてお願いいたします。

教育部長(川瀬 吉治) 岩谷委員から欠席の連絡をいただいております。

菅野教育長 次に議件に入ります。

日程第5、承認第6号、専決処分した事件の承認について、令和5年度教育行政執行方針について説明を求めます。

教育部長(川瀬 吉治) 承認第6号、専決処分した事件の承認について、ご説明申し上げます。

議案書は1ページをご覧ください。

令和5年度教育行政執行方針につきまして、会議を開く暇がありませんでしたことから、専決処分をさせていただきましたので報告をし、承認を求めようとするものであります。

お配りした別紙教育行政執行方針をご覧ください。内容についてご説明いたします。

1ページ目、中段記載のとおり、教育執行方針につきましては、昨年度中間年で見直しました「第6期幕別町総合計画」基本計画第4章「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」の各節と第1章「協働と交流で住まいる」第3節について、本年度の主な施策について申し上げます。

はじめに、「豊かな人生を育む生涯学習の推進」についてであります。

2ページの2行目「このため」からであります。百年記念ホールや図書館をはじめとする生涯学習の拠点施設を有効活用するとともに、札内コミュニティプラザや町民会館、忠類コミュニティセンターなどの施設も活用し、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる生涯学習施策を展開するほか、一人ひとりの多様な個性、能力を生かせるよう学習情報の効果的な発信や地域の特性、年齢階層などを考慮した生涯学習講座等の充実に取り組み、生涯学習を通じた幅広い世代の交流を促進し、様々な学習機会を提供してまいります。

図書館では、昨年策定した「第4期幕別町子どもの読書活動推進計画」に基づき、幕別町のすべての子どもが様々な機会や場所で読書活動を行うことができるよう、地域全体で連携し、子どもの読書環境の整備を図るとともに、引き続き「図書館を核とした地域づくり」に取り組んでまいります。

2つ目は、「生きる力」を育む学校教育の推進についてであります。

「学校教育の充実に向けた主な施策」について申し上げます。

下から5行目、小中一貫教育の推進については、教育課程の充実として、町内児童生徒の学力の維持・向上を図るため、小中学校の協働による学園内の児童生徒の習熟度分析を行うとともに、各学園で教科や時数を具体化させた年間計画をもとに乗入授業を推進してまいります。

次は、「また、生徒指導の充実として」からですが、不登校への対応強化では、学園内で不登校が心配される児童の指導計画の検討など情報共有を図り、保護者への働きかけを協働で行うことや、登校不安の解消のため、生徒指導の機能を生かした学習指導など具体的な取組を実施するとともに、保護者や外部機関との連携強化では、スクールカウンセラーや子どもカウンセラーによる、授業参観や校内生徒指導研修等への同席、PTA研修会での講話など、生徒指導のチームの一員として活用してまいります。

さらに、特別支援教育の充実として、進路を見通した、適切な目標設定と教育課程の編成のほか、小中学校担当者と保護者による面談や情報共有による支援方針や指導内容の点検、充実に努めるとともに、通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒の学習や学校生活を支援するため、小学校6校に36名、中学校3校に7名の特別支援教育支援員と、昨年度に引き続き、医療的ケア児を支援するため小学校1校に看護師1名を配置してまいります。

次は、「コミュニティ・スクールの推進については」からになりますが、各学園において、9年間で目指す児童生徒の資質、能力の育成について、地域に担っていただくことを焦点化するとともに、一体的に進めている「地域学校協働活動」については、既存の活動を整理し、教育計画などに具体的に位置付け、活動経過等の積極的な発信により、新たな活動に繋げるなど、「議論から実践」への流れを具体化し、地域とともにある学校づくりを進めてまいります。

続いて、学校における働き方改革の推進については、校務支援システムの効果的な活用を通して、校務の効率化による教職員の事務負担の軽減を図り、業務の平準化や時間外在校等時間の縮減に努め、生み出された時間を活用し、児童生徒指導の充実や職能向上を図るとともに、引き続き学校事務補助員を小学校5校、中学校4校に1名ずつ配置してまいります。

また、少子化が急速に進展している中、存続が厳しい状況下に置かれている中学校の部活動は、その一方で、教師の長時間労働の主な要因の一つとも指摘されてまいりましたが、今年度から、本町の生徒にとって望ましい部活動の在り方や地域移行等について、「幕別町部活動地域移行検討委員会」で検討を進めてまいります。

次に、「学校給食」についてであります。4ページの4行目からになります。

食の大切さや食文化などの教育を推進するため、栄養教諭を中心とした指導のほか、毎年協力をいただいている農協青年部との連携などにより、食に対する指導の充実に努めるとともに、地場産食材を活用した「まくべつの恵み給食」の提供を通じ、安心・安全で栄養バランスのとれたおいしい給食を提供してまいります。

次に、「教育施設の整備」についてであります。

令和2年11月に策定した「幕別町学校施設の長寿命化計画」に基づき、昨年度から札内南小学校の長寿命化改修工事に着手しており、本年度は、屋内運動場、2階の普通教室や特別教室などを実施してまいります。

また、次期対象施設として検討している幕別小学校校舎につきましては、幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方が大きく関わっており、先般、実施いたしました保護者アンケートの結果等を踏まえながら施設整備の方向性を早急に結論づけてまいります。

次に、「高等学校への支援」についてであります。

幕別清陵高等学校につきましては、本町の特色を生かした魅力ある教育活動をはじめ、社会に開かれた学校づくりが展開できるよう、これまでの各種学校活動等に対する支援に加え、道内外の大学の教授による出前授業や大学生との交流を通して、学習に対する考え方や自主的・主体的な生徒会活動、地域貢献について学ぶことで、地域への誇りと愛着を持ち、地域の未来を担う人材を育む高校となるよう支援に努めてまいります。

昨年、開校10周年を迎えた中札内高等養護学校幕別分校については、町内の福祉関係団体や経済団体等で組織する「地域協力会」と連携しながら、引き続き就労促進につながるよう支援してまいります。

3つ目は、「青少年の健全育成の推進」についてであります。

中段の「このことから」になりますが、郷土への愛着を育み、心豊かな人づくりを目指し、自然体験や郷土幕別の歴史など幅広い学習機会を通して、心身の健全な育成を図るため、「ふるさと館ジュニアスクール」や「学び隊」などの事業を継続してまいります。

また、家庭、地域、関係機関の連携を図り、子供たちを守り育てていく活動を推進し、幕別町PTA連合会や幕別町児童生徒健全育成推進委員会のほか、子ども会などの活動を支援するとともに、未来を担う青少年が心身ともに健やかに育つ環境づくりを推進してまいります。

4つ目は、「芸術・文化活動の振興」についてであります。

下から3行目の「このため」からになりますが、百年記念ホールの指定管理者であります特定非営利活動法人まくべつ町民芸術劇場と協働・連携を図り、優れた芸術文化に接し、体感できる鑑賞機会を提供するとともに、本年度は、施設の老朽化対策としてホール屋外通路部分雨除け設備のコリドールとプラザイベント広場のベンチの改修工事を実施してまいります。

5つ目は、「歴史的文化の保存・伝承」についてであります。

ふるさと館や蝦夷文化考古館のほか、貴重な全身骨格を展示しているナウマン象記念館のそれぞれの長を生かし、郷土の歴史や文化等を学習する場としての活用を図ってまいります。

また、ナウマン象記念館の展示物については、開館から35年が経過し、近年の研究成果などで化石発掘当時の学説が変わってきたため、現在の学説に沿って展示を変更させることや、映像コーナーなどの機器に不具合が生じていることなどから、展示物の改修工事を実施してまいります。

さらに、幕別町アイヌ施策推進地域計画に基づき、施設の建設を計画している、生活館棟の実施設計のほか、木彫や刺繍などのアイヌ文化体験講座、アットゥシ製作技術体験講座等を実施するため、幕別アイヌ協会やマクンベツアイヌ文化伝承保存会などの関係団体と連携を図りながら進めてまいります。

6つ目は、「健康づくりとスポーツ活動の振興」についてであります。

本町のスポーツ施設は、札内スポーツセンターや農業者トレーニングセンターなどの屋内施設と陸上競技場や野球場のほか、町発祥のコミュニティスポーツであるパークゴルフ場などの屋外施設を設置し、多くの町民の方が気軽に利用できるよう維持管理に努め、体力づくりや健康維持のため利用促進を図ってまいります。

また、住民の方の健康寿命延伸のため、継続したスポーツの取組みを目的として、従来から開催しておりますパークゴルフ家族大会や町民親睦パークゴルフ大会のほか、リフレッシュ教室やパラスポーツ体験教室などの各種教室、スポーツ大会の更なる周知を図るとともに、事業の推進に努めてまいります。

さらに、「第1期幕別町スポーツ推進計画」を実行していくため、関係機関等と協力・連携を図り、子供の運動・スポーツを支えるための講演会やオリンピックの学校訪問のほか、応援大使とのイベントや大学のスポーツ合宿誘致事業などを実施し、アスリートと創るオリンピックの町創生事業を展開するとともに、町民ニーズの変化や課題を捉え、次期の計画策定に取り組んでまいります。

最後に、「国内交流や国際交流の推進」についてであります。

国内交流につきましては、下から4行目「本年度は」からになりますが、本年度は、開成町と中土佐町からの受入れを実施することに加え、本町からも上尾市に児童10名を派遣するよう準備を進めてまいります。

また、海外研修事業については、本年度は、中学2年生16名、幕別清陵高等学校1年生3名、合わせて19名をオーストラリアのキャンベラ市へ派遣し、翌6年度からオーストラリアから生徒の受入を再開することといたしましたので、派遣、受入体制に万全を期したいと考えているところであります。

以上、令和5年教育行政執行方針につきましては、本日10時開会いたしました令和5年第2回町議会定例会において、教育長から述べさせていただいたところであります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご承認の程お願いいたします。

菅野教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

國安委員 教育関係や社会の中でA Iやインターネットが急速に進化している現状があるという中で、社会情勢に応じて、臨機応変に対応していくことが必要だと思います。

教育部長（川瀬 吉治） ご指摘いただきましたICTの活用ということだと思いますが、教育行政執行方針ではあまり触れておりませんでした。これについても重点を置き対応したいと思います。

菅野教育長 他にございませんか。

（ありません）

菅野教育長 質疑なしと認めます。お諮りいたします。承認第6号について、原案どおり承認することに、ご異議ありませんか。

(異議なし)

菅野教育長 異議なしと認め、承認第6号は原案どおり承認しました。

菅野教育長 次に日程第6、議案第51号、「令和5年6月16日付け教頭人事異動の内申について」は、幕別町教育委員会会議規則第15条、第1項、第1号、「公開することにより個人の権利を侵害するおそれのある事項」のため、また、日程第7、議案第52号、「令和5年度幕別町一般会計補正予算の要求について」は、幕別町教育委員会会議規則第15条、第1項、第4号、「教育事務に関する議会の議案について町長への意見の申出に関する事項」のため、「秘密会」といたします。これにご異議ありませんか。

(異議なし)

菅野教育長 異議なしと認め、秘密会といたします。

菅野教育長 秘密会を解きます。議案については以上となりますが、この他、皆さんからなにかございませんか。

(ありません。)

菅野教育長 以上をもちまして、本日の日程の全てが終了しましたので、第8回教育委員会会議を閉じます。